

山口和之さんの
いきいき
Interview vol.3
企業探訪



日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

(やまぐち・かずゆき)

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院(現在の当院)のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

山口 今回はライクスさんにお邪魔しています。ここを選んだ理由は未来を感じたからです。山本社長、まずは業務内容について教えてください。

山本 官公庁や団体、企業、総合病院、店舗などのホームページの企画立案やデザイン制作、ウェブシステム開発、マーケティング、ユーチューブ用の動画、ポスターやチラシ、パンフレットの制作など、幅広く手掛けています。

山口 ホームページを制作する際に心掛けていることは。山本 今や世界はGoogleが牛耳っていると言っても過言ではないので、ホームページは基本的にはGoogleの考え方に沿って作っています。また、スマホ、タブレット、パソコンとそれぞれ異なった画面サイズでバランスよく、美しく見せる必要があります。

山口 クリエーターにとって大切なこと、必要なことは。山本 人間的な個性ではなく創造的な個性と意欲が必要

だと感じています。技術的なことは学ぶ意欲があれば何でもなりますが、本来持っている個性は学ぶことでは習得できないと考えています。制作に対する意欲、いいものを作りたいという意欲が大きければ大きいほど、他の誰も思いつかない素晴らしい企画やデザインに結び付くと思います。

山口 コロナ禍で変化したことはありますか。山本 弊社も例に漏れず働き方が変化し、コロナが落ち着いた現在でも申請があれば在宅勤務を認めています。パソコンさえあれば、いつでもどこでも仕事はできるので。ただし細かい打合せが必要な場合は出社してもらいます。ウェブで打合せが可能になったことで、首都圏の企業などからホームページ制作やシステム開発についての問合せが増えました。我々のような地方の制作会社の方が費用を掛けず

に済むからでしょうが、画面を通してだけのコミュニケーションではお互いが納得したものを作れないの思いから、残念ながらお断りするケースがほとんどです。

山口 働き方改革などは進んでいますか。山本 残業は極力しないようにしています。制作会社としては珍しいのですが、基本的に

山本 弊社も例に漏れず働き方が変化し、コロナが落ち着いた現在でも申請があれば在宅勤務を認めています。パソコンさえあれば、いつでもどこでも仕事はできるので。ただし細かい打合せが必要な場合は出社してもらいます。ウェブで打合せが可能になったことで、首都圏の企業などからホームページ制作やシステム開発についての問合せが増えました。我々のような地方の制作会社の方が費用を掛けず

1日8時間で業務を進めるよう心掛け、当然のことながら年に一度は健康診断を受けています。座りっぱなしの作業なので一時期、3時にラジオ体操を行っていましたが、長続きしませんでした。健康経営や福利厚生など、今後は社員と話し合っ進めていきたいです。

山口 今後のビジョンをお聞かせください。山本 クリエイティブな仕事の基本なので、社員も得意先の皆さんも誰もがワクワクする、楽しくて面白い会社を目指したいと思います。締め切りが迫り、仕事に追われて楽しいめないこともありますが、全員が常に趣味の仕事というふうになれば職場環境も明るくなり、必然的にお客様も付いてきてくれるはず。いい仕事をするとお客様からの紹介によって新規のお客様が増えていき、たいへん有難いことだと感じています。

代表取締役
やまぐち ひろゆき
山本 裕行 氏



株式会社ライクス

福島市南沢又河原前11
TEL.024-557-8053
https://like-s.jp



キャラクターが人気の伊達市観光物産交流協会の動画

クリエイターには創造的な個性と意欲が必要
誰もがワクワクする楽しくて面白い会社を目指す

山本 弊社も例に漏れず働き方が変化し、コロナが落ち着いた現在でも申請があれば在宅勤務を認めています。パソコンさえあれば、いつでもどこでも仕事はできるので。ただし細かい打合せが必要な場合は出社してもらいます。ウェブで打合せが可能になったことで、首都圏の企業などからホームページ制作やシステム開発についての問合せが増えました。我々のような地方の制作会社の方が費用を掛けず



山本社長からホームページについて説明を受ける山口さん

山本 若者が首都圏に行かず地元に残る理由は、何事にもセンスが大事だということ。そういう意味では山本社長、ライクスさんは文化を築いてらっしゃる。若者が定着する福島県のために、今後も県内のデザイン界を引っ張っていく存在であり続けてください。期待しています!